

図書館だより

LIBRARY INFORMATION

ゆっくり本を楽しむ

今月のおススメ

サクラ
おくやまひさし 著
さくらいろの季節
蒼沼洋人 著

4月 図書館カレンダー

2024年		April				
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

3月20日は春分の日です。「春分」は昼と夜が同じ長さになる日であり、自然をたたえ、生物をいつくしむ日とされています。日本の季節を72に分類する「七十二候」では、「春分次候/桜始開(さくらはじめてひらく)」と表現します。今月は、桜が咲き始める春の訪れを祝福し、桜の本をご紹介します。

サクラ

桜(ソメイヨシノ)の木を、1年間じっくり観察して書かれた絵本です。桜が華やかに咲き誇り人の目を惹き注目されるのは、本当に短い期間。この本では、満開の花の季節だけでなく、夏の緑陰や秋の色づき、冬の新芽、集まってくる鳥や虫、さまざまな病気や天敵との闘いなど、季節ごとに丁寧に紹介しています。また、確かな観察をもとに描かれたサクラや鳥、昆虫などのイラストは、どこか命のぬくもりを感じさせてくれます。



ほるぷ出版

さくらいろの季節

主人公のめぐみは親友が転校してしまい、喪失感を抱えています。そんなめぐみとクラスメイト達の関係は少しずつ変化していきます。小学2年生のときは仲良かった3人の女の子は、6年生になるとそれぞれの考え方の違いや家庭の事情、周りの友達関係の変化などで離ればなれになります。そんな中、事件が起きて…。思春期の揺れ動く心の葛藤を乗り越え、強く生きようとするめぐみから、本当の友情とは何かを考えさせられます。



ポプラ社

■休館日：月曜日(祝日の場合はその翌日)、図書整理日

◎お話し会：4月13日(土)午前10時30分から

ホームページでは、利用案内や図書検索など図書館の情報を掲載しています▶



☎ 図書館 ☎ 029-897-0647

図書館千代田分館の休館について

図書館千代田分館(千代田公民館内)は3月31日をもって休館し、5月に開館予定の「千代田コミュニティセンター(旧志筑小学校)」に移転します。

コミュニティセンターが開館するまでは、図書館本館(あじさい館内)をご利用ください。



詳細はこちら

歴史にふれる

寺社から見る宮大工の足跡

今月は、加茂にお住まいの松葉薫さんが、著名な宮大工「永野一門」が手掛けた、建造物について話してくれました。

宮大工「永野一門」の歴史と古文書

永野一門は、江戸時代を中心に下野国田野辺村(現在の栃木県芳賀郡市貝町田野辺)を拠点に活躍した宮大工で、永野万右衛門を頭領とした一門です。彼らは、栃木県内を中心として、近郷に数多くの優れた寺社建築を残しました。永野一門に関する古文書に「諸国普請々合記(永野家文書)」があります。この古文書には、17世紀から19世紀初め頃までに永野一門が関わった建造物がまとめられており、大変貴重な資料となっています。

永野一門が関わった市内の建造物

永野一門による市内の建造物として、元文4年(1739)に建てられた加茂地区南園寺の護摩堂と、

宝暦13年(1763)に建てられた南園寺の客殿があります。いずれも火災により現存しませんが、客殿は江戸時代の絵図の中にその立派な姿を見ることができます。13間×9間(約24.5m×16.4m)の建物であったとされ、当時の様子が伺えます。



周辺地域の建造物を一部紹介

「諸国普請々合記」から永野一門が関わった建造物を一部紹介します。※()内は地区名
【土浦市】等覚寺客殿(大手町)、海蔵寺客殿(沖宿)
【つくば市】東福寺客殿・山門・護摩堂(松塚)
このほかにも水戸城内や土浦城内、筑波山神社随神門の建築を行っていたことが分かっています。皆さんもぜひ、永野一門の仕事に思いを馳せてみてください。

☎ 歴史博物館 ☎ 029-896-0017

【2月号(2月20日発行)訂正とお詫び】

文中の記載に誤りがありました。訂正してお詫びします。

【誤】陸軍参謀本部陸地測量部 → 【正】陸軍参謀本部

総合型地域スポーツクラブスタッフのコラム / KSC なかよしクラブ 松庫義弘さん寄稿

スポーツで『地域』を元気に

☎ スポーツ振興課 ☎ 029-898-9907

かすみがうら市のサッカーの歴史 ~千代田サッカー少年団~

40年前(1984)に千代田サッカー少年団代表の猪俣健一さんが旧千代田村に引っ越してきたときは、小学生がサッカーをする機会がなく、チームも存在していませんでした。そのような中、当時の教育委員会と地域のサッカー経験者が協力し、サッカー教室を冬季(11~12月)に開催したところ、他の競技に参加している小学生も集まるなど、多くの参加者たちでにぎわいました。

教室終了後もサッカー経験者たちが任意で活動を続け、3カ月後には、土浦市チームと6年生の卒業試合が開催されました。この卒業試合が後の土浦市長杯大会になりました。その後も継続して練習を続け、父母会が結成され「千代田サッカー少年団」が発足しました。

平成5年(1993)にJリーグが始まった日本社会では、サッカー熱が徐々に高まり、本市でも、わかぐり運動公園に芝生のサッカー練習場が造営されました。また、少年団に入団する小学生も増え、現在に至るまでの40年間に700人近い団員を送り出しています。

現在、少年団にはJFA(日本サッカー協会)スポーツ少年団公認資格を持ったスタッフが16人在籍しているなど、指導体制を整え活動しています。

今後の展望として猪俣代表は、「部活の地域移行なども含め、地域スポーツの発展のために協力できる体制を考えていきたい」と語っていました。



文芸ひろば

投稿作品

千代田俳句同好会	紅色の雲たなびきて春落暉	桜井筑蛙
風光る袴姿の笑顔なり	鈴木けいこ	
城跡は大きな日向仏の座	中島暉子	
庭球の音のひびけり梅真白	萩原初枝	
天空に大きき鶯の輪春立ちぬ	福田妙子	
春光や塗るかへされし朱の鳥居	飯沼礼子	
紫陽花俳句会	久保庭悦子	
衛星の打上げ成功春浅し	原田佳世子	
冴返る満天の星凍りつく	田能幸雄	
冴返る峠に風の遇ふ音ぞ	福田宏通	
身を絞見え事咲きたる古紅梅		
出島短歌会	名倉観子	
何故なのか心沈みて張りもなくやる気もなくてこたつに寝入る	仲谷香代子	
道の辺にはやホトケノザ群れ咲きて春を告げおり一月尽日	華師寺玲子	
半ベソをかいてるような赤尻が今日も居る氷雨降る軒下	岡田恭子	
晴天の風揚げ広場に子供らの声のひびけり土曜日の午後		
投稿作品	関和代	
日短かよ温くなったら帰ろうね老いの面会ホームは静か	矢口哲雄	
露のとう天ぶらにしたいい苦み舌で感じる春のお訪れ	中島良平	
斉唱の「仰げば」響く講堂へ別れ知りそむ小六の春	沽野はつ子	
沈丁花香る庭先陽だまりに友と語らう一時たのし	石塚清	
南方の島にはいたる稲草の二千年過ぎ食の尊さ	齋藤翔子	
花風に送られる様教室へ笑顔満開来る新学年	岡田よう子	
雨水すぎ健気に咲けし老木の白梅眺め快し風	高野新一	
帰宅路の霞ヶ浦大橋橋上灯に癒やされる	竹村啓子	
きさらぎやチョコ溶かす手の赤き爪	萩一浄	
寒風を翔けて天馬雪はこぶ	兼西清治	
紅梅や焦土に散りし花の数	中村耕二	
神棚で皆を見守る桃飾り		

WEBで投稿
できます



投稿作品(俳句・短歌・川柳)を募集します。4月5日(土)までに秘書広報課(〒315-8512 上土田461)へお願いします。 ※応募多数の場合は掲載されない場合があります。また、【電話番号】【漢字にはふりがな】の記載をお願いします。

「総合型地域
スポーツクラブ」に
参加しませんか?

種
目

スポーツ広場、硬式テニス、太極拳、ピンポン、フットサル、よさこいソーラン、軽音楽、社交ダンス、ウォーキング、グラウンド・ゴルフ、英会話広場、スポーツ鬼ごっこ、スポーツ吹矢



▲詳細

連
絡
先

KSC なかよしクラブ
☎ 090-2417-8502 (大和)
KSC エンジョイスポーツ
☎ 090-2420-7846 (高田)